

◇伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

委員（平成27年12月現在）

	市町名	区分	団体名	委員	
				役職	氏名
1	伊勢市	全 般	三重県 (南勢志摩地域活性化局)	副局長兼地域 活性化防災室長	川口 徳郎
2	伊勢市	全 般	皇學館大学	企画部長	木村成吾
3	伊勢市	医療・福祉	伊勢地区医師会	理事	西山 敦
4	伊勢市	医療・福祉	伊勢市社会福祉協議会	参与	大西 栄
5	伊勢市	教 育	皇學館大学	文学部教授	齋藤 平
6	伊勢市	産業振興	伊勢商工会議所	専務理事	岩崎良文
7	伊勢市	産業振興	伊勢市金融協会	株式会社百五銀行 伊勢支店長	奥出 協
8	伊勢市	産業振興	伊勢市観光協会	専務理事	西村純一
9	伊勢市	産業振興	伊勢農業協同組合	常務理事	前田政吉
10	伊勢市	公共交通	三重交通株式会社	伊勢営業所 所長	中林広己
11	鳥羽市	市町推薦	鳥羽市観光協会	顧問	小見山健司
12	志摩市	市町推薦	志摩市自治会連合会	会長	山崎勝也
13	玉城町	市町推薦	—	玉城町監査委員	中村 功
14	度会町	市町推薦	—	—	田村重幸
15	大紀町	市町推薦	大紀森林組合	保全課長	米倉敦也
16	南伊勢町	市町推薦	三重外湾漁業協同組合	常務理事	畑 金力
17	明和町	市町推薦	明和町観光協会	会長	東谷泰明

<敬称略>

主な意見等（平成27年度）

分野	意見等
人口	人口減少が進むなか、いかに定住人口を増やし、地域を活性化していくのかについての見通しを立てて、具体的な取組を考えていく必要がある。
雇用	働く場の確保について、企業誘致という形で外から持ってくる視点は見えるが、地域内で企業を育てるといった発想も必要である。
地域情報	圏域の一体感を強めるために、地域情報の共有化を推進していくべきである。情報のネットワーク形成が進めば、公共サービスも等しく受けることができるようになると思う。
人材育成	行政職員は人材育成の中心となる人材が少ないと思う。職員の育て方の研修を行い、各市町が自前で人材育成していける体制を考えてほしい。 圏域としてどのような目的を持って地域を担う人材や子どもを育成していくのかについて、具体的なビジョンを持った取組がほしい。
その他	定住自立圏に5年間取り組んだ結果、圏域の定住率や移住者数にどれだけ影響があったのか、その評価方法についての検討が必要である。